

ひきじだい

(2023)年5月29日
水無月(6月)号

大和市長
引地台小学校
HIKIJIDAI ELEMENTARY SCHOOL



プールサイドから子どもの歓声が響く水泳指導

校長 箱崎 勝美

もうすぐ、6月を迎えようとしています。すでに、沖縄や奄美地方では、梅雨入りが発表されました。関東甲信地方の梅雨入りは、6月7日あたりです。梅雨とは、春から夏に移行する過程で、その前後の時期と比べ雨が多くなり、日照りが少なくなる季節現象のことです。一方で、晴れた日には、太陽の日差しが強くなり、気温も夏並みになってきました。熱中症対策が必要であります。



5月17日、「熱中症予防・対策について(お知らせとお願い)」のお手紙で、お知らせしたように、今後、熱中症の危険が高まることから、登下校時や体育の授業はマスクを外すように積極的に呼びかけます。原則、外せない時は、体育は見学になります。

一方、お子様の体調や感染への不安などからマスクを外せないと言う時は、担任とご相談ください。引き続き子どもたちの体調管理にご協力、よろしく願いいたします。

また、5月は、外の気温が高くなり、教室の気温も上昇していることもあるので、学習に支障がなく、周りに迷惑にならない範囲での保冷グッズの教室での使用も認めることします。

例えば、首を冷やすために使う冷感グッズ、冷感タオルなどです。一方、冷感スプレー類、携帯扇風機類などは、学習に支障があるものとして、教室内での使用を控えていただくようお願いいたします。

さて、6月は、4年ぶりにプールでの水泳指導が行われます。子どもたちの多くは久しぶりの水泳の時間を楽しみにしているようです。泳ぐ楽しさを体験して、自分の目標を立て、頑張ってくれることと思います。そして、子どもの安全のために、頭髮、爪なども清潔に保つようお願いします。

水泳の授業に際して、子どもたちの健康状態の把握がとりわけ大切です。子どもたちには、「健康カード」を忘れてたり、未記入があったりした場合は、プールに入れないことを伝えています。「自分の健康状態を知ることと水泳の約束を守ることがプールの基本」と指導します。プールサイドから児童の歓声が響くように、水を楽しめるようになることを願っています。

夏になると、海や川などでの水の事故が報じられます。こうした事故を防ぐためにも水への正しい理解をして泳ぐ楽しさを体験させたいと願います。6月も、子どもたちが自分から取り組み、楽しく学んでいけるように、また、行事や生活の中でいろいろな人と関わり、自主的な活動ができるように教職員で協力して指導していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

